

1 学校の教育目標 「**自主 自律 協働**」

2 合い言葉 「**拓く**」
～未来を拓く学校づくり～

3 求める生徒の姿と教師の立ち位置

未来を生きる生徒たちには、自ら課題認識をし、学んだ知識や身に付けた技能をもとに主体的な解決への姿勢と他者との協働によって新たな道を切り拓いていく力を身に付けなければならない。教師は生徒の将来の自己実現を求めるため、一人一人への温かい生徒理解に立ち、教師自らが常に新しい自分を拓く姿を示しつつ、組織力をもって生徒たちの支援者にならなければならない。

生徒の実態

- ・落ち着いて授業を受けられる
- ・真剣に掃除する生徒が多い
- ・係やリーダーの呼びかけに応える生徒が多い
- ・部活動に一生懸命取り組む生徒が多い
- ・不登校、不適応生徒 H30、3.9% (H29 3.3%)
- ・引っ込み思案で自分から進んで何かをすることが苦手な生徒が多い

4 バランスの取れたスリム化と主体的な生徒の育成

・二学期制の変更・道徳の確実な35時間実施・木曜部活の停止・総合活動（30分程度委員会や行事対応等）・授業や家庭学習での低学力層への支援・昼掃除・朝帯時間のカット

5 三つの「拓く」（Ⅳ期指導改善サイクルの充実～開放・全力・関わり・感謝と誇り～）

自分を拓く	仲間と拓く
<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善（課題解決型の授業を目指す） <ul style="list-style-type: none"> ・興味関心のもてる課題設定 ・意見をもち、伝え合う授業 ・終末評価の明確化による授業改善（事実を根拠とする評価） ・常に努力と成果を認め励ます指導 ○平均点半分以下10%未満を目指す学力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導（2、3年数学 2、3年英語） ・一人でも学べる家庭学習（低学力層支援） ○教師同士の学び合いによる指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ研による授業公開と指導法の交流 ○道徳授業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・35時間の確実な実施・変容の把握と評価 ○中高連携 <ul style="list-style-type: none"> ・目指す生徒像の共有・協働による授業開発 ・高校生学習サポート、英語観光案内、部活動連携（吉城、飛騨神） 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会力を身に付ける学級経営と生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> ・個に寄り添う指導 ・自己実現に向けた姿を価値付ける指導 ・相互理解を基盤にした人権感覚と社会力の育成（二年生金沢研修の実施 三指導部会の再編） ○新たな不登校、不適応を出さない指導 <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携 ・早期対応 ・他機関連携 ・困り感の把握 ○主体的、創造的な生徒会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会による主体的活動（あいさつ・そうじ・合唱・授業 縦割り活動） ・生徒会宣言を基盤とする人権教育 ○仲間と続ける部活動 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、継続、仲間、主体性 ・部活動指導員や社会人コーチとの連携 ・一部活一ボランティアの実施
<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育（合理的配慮の視点から見た個別の生徒理解） <ul style="list-style-type: none"> ・相互理解を深め、思いやりに満ちた生徒の人間関係づくり ・発達障がい等に関する職員研修の充実 ○特別支援学級（知的学級5人・1,2,3年 自閉・情緒学級4人・1,3年） <ul style="list-style-type: none"> ・通常学級との交流活動の充実 ・全職員の共通理解のもと、教科担任制と学年を分けた指導体制の充実 	
ふるさとを拓く	
<ul style="list-style-type: none"> ○身近に生きる人々の姿から、ふるさとの「もの」や「こと」を知り、「ひと」の思いに気づくことで、職業観を深め、ふるさとに貢献しようとする姿勢を育む。 ○ボランティア情報を組織的に集約・発信し、地域貢献カードを生かした取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> 【一年】・飛騨市を知る（飛騨市の産業や名品、概要、市の産業構造やその現状と課題） <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業を知る（PTAとの連携事業） 【二年】・「職場体験学習」の拡充 ・地元職業人のプロ意識を学ぶ（PTA等との連携事業） <ul style="list-style-type: none"> ・版画集「ふるさとを刻す」の作成と地域配布 【三年】・「広島」の惨状から復興するまでの広島の人々の生き様を学ぶ（平和教育を通して） <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを通して、自ら目指す生き方を発信していく。 	